

# ひろがるチムグ

## インタビュー

世界のウチナンチュネットワークを活用してビジネスの可能性を広げるWUB（ワールドワイド・ウチナンチュ・ビジネス・アソシエーション）の与那嶺真次会長に、WUBの現状やこれから目指す方向性などを聞いた。

— WUB設立から十年目、現在のWUBの状況を教えてください。

「一九九七年にWUBが設立されて、アルゼンチンからワインを日本に輸出したり、ペルーの会社がボリビアでレストランを開くなど各支部同士を結んだ活動が活発化している。昨年は米州投資公社（IIC）と投融资に関する覚書を締結。人材育成として、ハワイ大学のイース

与那嶺 真次さん WUBインターナショナル会長

トウエスト（東西）センターへウチナンチュの子弟を派遣する奨学制度も始まった」

— ワールドビジネスフェア開催の意図を教えてください。

「ワールドビジネスフェアの意義は、世界で活躍するウチナンチュと真内企業が情報を交換できることだと思う。四千人のウチナンチュが来興し

て顔を合わせるこの大会でさまざまな情報を交換することで、ビジネスの可能性を広げられる」

「WUBがこれから目指す方向性について、日本から遠かったハワイは、この十年で心理的距離が確実に縮まった。これからは、多くの地域の人が参加してくれることを期待している。ヨーロッパやアジアなどの地域や、特にメキシコとのつながりを強めたい」

— 今後、WUBが発展するために何が重要か。

## 広がるビジネスの可能性

## 「チムグクル」で心通じる

向として、ウチナンチュの間だけの関係だけにとどまらず、ウチナー社会を取り巻く人々たちを世界に紹介することが大事だ」

「これから世界のウチナンチュは四世や五世の世界となっていくが、大切なことはチムグクルだ。チムグクルがあれば、どこにいてもウチナンチュのアイデンティティを持つことができ、いつでも沖縄と心通じる

「昨年会長に就任して、これからどのようなWUB像を目指しているのか。」

「WUB設立以来、数多くのウチナンチュが会員となって深いつながりができた。かつて



「ワールドビジネスフェアは貴重な情報交換の場」と語る与那嶺真次WUBインターナショナル会長